

都市農村交流（農商工連携）
マネジメントコーディネーター
育成事業

えがおの学校



「未来につなぐ」人材育成



えがおの学校では、都市のニーズと農村の資源をマッチングしながら、全国の農村が抱える3つの課題（①農村の経済構造の悪化、②資源保全管理不足、③コミュニティの維持・存続の限界化）を解決しつつ、多様なビジネスモデルを企画運営できる都市農村交流（農商工連携）マネジメントコーディネーターを育成するための人材育成事業を実施しています。

えがおの学校では、都市と農村をつなぐ人材を育成します。

都市農村交流(農商工連携)マネジメントコーディネーターとは

えがおの学校が育成するのは、都市部の状況を踏まえ農村が保有する多様な資源を的確に把握し(知識力)、新たな事業を企画し(企画力)、地域住民をはじめとした多様な主体との調整を行いつつ(コミュニケーション力・提案力)、都市農村交流(農商工連携)事業マネジメントコーディネーター(運営力・実現力)を進めることができる人材です。当校は、起業を志す方、新規事業を検討の企業、都市との交流を広げたい農村部の自治体などで、新たなビジネスモデルを展開できる人材を育成します。

えがおの学校

都市農村交流マネジメントコーディネーター育成のステップ

【基本ステップ】

STEP1: 概論

都市農村交流マネジメントコーディネーターの意義・必要性の習得

STEP2: 農村資源の捉え方

マクロとミクロ、多様な資源価値の習得

STEP3: 都市のニーズ

個人のニーズ、企業のニーズの習得

STEP4: ビジネスモデル

5Pモデルの習得 (5P: Products, Price, Place, Promotion, Person)

STEP5: 事業計画の習得

STEP6: プレゼンスキルの習得

成果発表会(ビジネスプランの発表&ビジネスマッチング)

都市農村交流(農商工連携)マネジメントコーディネーターの役割や社会的位置づけ、職業としての可能性を広く普及させるため、成果発表会を行います。企業や自治体、NPO等に参加してもらい、研修生とのマッチングの機会を設けます。

発表したプランの一例(平成21年度)

最優秀賞 ・幸せな鶏達のオーナー制たまご

優秀賞 ・都市と農村を笑顔でつなげる「旬・菜・便」事業
・家業を太くせんばと! 竹添ハウス食品をつくろうぜ
・規格外野菜とペットフードを結び付ける

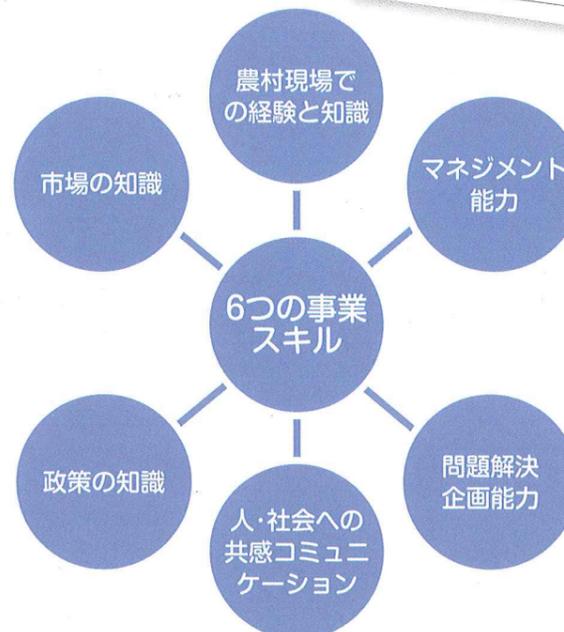


都市と農村を結ぶマネジメント能力を総合的に学べます。

えがおの学校のカリキュラムは、標準化マニュアルに基づいており、マネジメントコーディネーターとしての幅広い能力を、「6つの事業スキル」で体系的に習得していくことができます。



6つの事業スキルを体系的に学習



地域活性化事業をめざす方へ

当NPOの活動に賛同し、農村資源を活用したビジネスプランを構築・実現できる人材を育成しています。人材育成にとどまらず、地域・企業とのマッチングなどの活動を通じて、多くの研修修生が起業家の道を歩んでいます。

地方自治体の方へ

農村が抱える課題を解決するために、農村に対する都市のニーズを踏まえ、自ら企画して、様々な都市の人・組織等との連携を構築しながら、地域おこしを実践できる「マネジメントコーディネーター」人材の育成を図ります。

企業の方へ

農村との連携を通じて、都市のニーズと農村資源をつなぐ人材を育成しています。企業のCSR事業や、農業参入等を検討されている企業の研修、エリアマーケティング、ブランディング、福利厚生等に適したプログラムです。



曾根原久司 特定非営利活動法人 えがおつなげて 代表理事

主な役職: 山梨県立農業大学校講師、山梨県やまなしコミュニティビジネス推進協議会会長、内閣府地域活性化伝道師、NPO法人南アルプス山の学校理事長、NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク理事

表彰履歴: ●平成15年度 農林水産省 オーライニッポン大賞ライフスタイル賞受賞 ●平成18年度 農林水産省 立ち上がる農漁村 優秀事例選定 ●平成19年度 毎日新聞 グリーンツーリズム大賞優秀賞受賞 ●平成19年度 農林水産省 オーライニッポン大賞受賞 ●平成20年度 (財)あしたの日本を創る協会、読売新聞、NHK主催あしたのまち・くらしづくり活動賞 内閣総理大臣賞受賞 ●平成20年度 経済産業省 ソーシャルビジネス55選選定 ●平成22年度 世界の社会起業家を競くSEOY日本プログラムのファイナリスト選出 ●平成22年度 農林水産省 食と地域の絆づくり優良事例選定 ●平成22年度 フード・アクション・ニッポンアワード2010 コミュニケーション・啓発部門優秀賞受賞

えがおの学校には未来への笑顔が満ちています

特定非営利活動法人えがおつなげては平成13年に設立後、地域共生型の市民ネットワーク社会を作ることを目的に活動してきました。えがおの学校は3年目を終えようとしていますが、昨年度までに研修を終了した研修生が自分のフィールドで新たなビジネスモデルを展開しつつあり、えがおの学校の成果が現われてきているとともに、農村再生・活性化の貴重な人材となりつつあります。研修生には自分のビジネスモデルを展開することにより、農村再生・活性化に寄与することを期待しています。

えがおの学校の活動と実績

えがおの学校のこれまでの取り組み

「えがおの学校」は、都市農村交流(農商工連携)マネジメントコーディネーター育成を目的に開講している講座です。これまで日本全国7か所で開催致しました。

えがおの学校の主な起業内容

(平成20年度、21年度研修生の起業率等)

平成20年度・21年度で延べ99名の研修生を育成し、その起業率(起業に取り組み始めた者も含む)は約40%です。

〈主な起業内容〉

- 無農薬緑茶、無農薬和紅茶の生産・販売(静岡県)
- 海外アートデザイナーとの連携によるアートプロジェクト(山梨県)
- 地産地消型の日替わりシェフによるカフェプロジェクト:ペリカフェ(埼玉県)
- 汽水湖に育つ渡利牡蠣のブランド化(三重県)
- 地産地消型の特産品開発・カフェプロジェクト(福島県)
- 地域問題になっている竹を活用した循環型産業育成プロジェクト:竹堆肥生産、竹宵イベント、竹による物づくり(熊本県)



平成20年度研修生

山梨県北杜校	23名
山梨県南アルプス校	8名
福島県会津校	12名
合計	43名

平成21年度研修生

山梨県北杜校	23名
福島県会津校	10名
三重県三重校	13名
熊本県熊本校	10名
合計	56名

平成22年度研修生

山梨県北杜校	21名
福島県福島校	7名
三重県三重校	9名
福岡県福岡校	15名
合計	52名

【詳細・お問合せ】「えがおの学校公式ホームページ」 <http://www.egao-school.net/>

特定非営利活動法人えがおつなげて

設立: 2001年6月

所在地: [本部] 〒408-0313 山梨県北杜市白州町横手2910-2 Tel:0551-35-4563 Fax:0551-35-4564

役員: 代表理事 曾根原久司

活動内容: 農をはじめとした地域共生型のネットワーク社会を創ることを目的に、「村・人・時代づくり」を行っています。山梨県北杜市白州町を中心に北杜市増富、南アルプス・ハヶ岳周辺、長野県飯島町、長野県小諸市、栃木県那須市、茨城県常陸太田市、福島県会津市、東京都、三重県、福岡県、熊本県などで、以下の活動を行っています。

- えがおの学校、えがおの専門学校など農村都市交流マネージメントコーディネーター人材育成
- 関東ツーリズム大学など都市のニーズと地域の問題解決を学ぶネットワーク
- 田舎で働き隊やえがおインターンなどの農業研修受け入れ
- 空と土プロジェクトや企業のはたけ倶楽部、やまなし企業ファームリーグなど、企業との連携での農商工連携、耕作放棄地解消活動
- 山梨エネルギーファーム、木質バイオマスなどエネルギー対策
- えがおファームによる農村都市交流プログラムやえがおマルシェによる農作物の販売他

ウェブサイト: 特定非営利活動法人えがおつなげて <http://www.npo-egao.net/> 空と土プロジェクト <http://soratsuchi.com/>
 関東ツーリズム大学 <http://tourism-univ.net/>